

●施策名

【施策15】一人一人の子どもに教員が向き合うことができる環境を整備します。

(関連指標：指標61(P56))

- i 教員の勤務の適正化と負担軽減
- ii 地域ぐるみによる学校支援の促進【再掲】
- iii 教職員の心身の健康保持

●代表的な取組の進捗状況

i 教員の勤務の適正化と負担軽減

○ 学校の組織運営体制の改善

学校の実態に応じた校務分掌と職務内容の見直しや、保護者等から寄せられる多種多様な要望等に対応する学校・教員への支援を行うとともに、新たな職の導入や学校事務の在り方等について検討・改善に取り組み、教員の負担軽減を図る。

(H26実績)

- ・ 保護者等から寄せられる多種多様な要望等について、必要に応じて指導助言を行った。また、学校事務の共同実施については、実態に応じた推進を行った。(義務教育課)
- ・ 校長会・教頭会等を通じて校務運営の効率化について、趣旨の浸透を図った。(高校教育課)
- ・ 学校評議員を定期的に入れ替え、評価に関する視点の活性化を図った。(特別支援教育課)

○ 教員の多忙化解消のための取組

県教育庁に設置した多忙化解消ワーキング・グループを中心に検討・実施してきた会議等の精選、学校に対する各種依頼等の精選等の具体的な改善策について、更なる実効化を図るための取組を推進する。

(H26実績)

平成26年2月に配付した「学校運営の効率化のための実践レポート集」に基づく取組を全公立学校に働き掛け、その結果を分析、公表した。

iii 教職員の心身の健康保持

○ 教職員健康管理事業

教職員の健康診断等を実施し、教職員の健康の保持増進及び福利の向上を図る。

(H26実績)

定期健康診断受診率 99.8% (対象者数 6,748人、受診者数 6,734人)

○ ふくしま教職員こころのケア事業 (共済組合)

公立学校共済組合員を対象に、臨床心理士等による個別カウンセリング相談及び講師派遣による講演、グループカウンセリングやピアカウンセリング等を行い、心の健康保持に資する。

(H26実績)

カウンセリング利用件数 711件、派遣による講演 3件

○ 管理監督者メンタルヘルス研修事業

管理監督者に対しラインケアに関する研修を実施し、職場環境等の把握と改善、教職員のメンタルヘルス不調への気づきと対応について認識を深め、職場におけるメンタルヘルス対策の推進に資する。

(H26実績)

研修会開催 17回 受講者 1,604名

●問題点・改善等が必要な項目

① 学校の組織運営体制の改善

- ・ 校務運営の効率化
- ・ 新たな職（指導教諭等）の導入に向けての検討

② 教員の多忙化解消のための取組

- ・ 学校現場の負担感の解消

●今後の取組の方向性

① 学校の組織運営体制の改善

- ・ 校内組織の再構成による校務運営効率化について校長会等を通じて趣旨を浸透し、校務分掌、部活動等の組織の見直しを促進する。
- ・ 新たな職について検討するため、導入済みの都道府県の状況調査等、情報収集に努める。

② 教員の多忙化解消のための取組

- ・ 「学校運営の効率化のための実践レポート集」を改訂し、活用を促進する。
- ・ 関係機関等に、学校現場の多忙化の現状理解と解消への協力を要請していく。